

# 社会資本総合整備計画 事後評価

「防災組織と連携し地域コミュニティによる防災体制の充実を図る  
災害に備えた安全安心な防災まちづくり(防災・安全)」

やまがた 山形県 てんどうし 天童市

平成31年2月

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	防災組織と連携し地域コミュニティによる防災体制の充実を図る災害に備えた安全安心な防災まちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）					交付対象	天童市						
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災計画に基づき、一時避難場所が不足している地区に公園を整備し、地区内の避難活動の円滑化を図るとともに防災活動の場として、一時避難所を確保する。</li> <li>災害発生時において住民に対し迅速に適切な避難誘導を行うため、防災行政無線のデジタル連絡通信網を整備し、安定した情報収集及び広報連絡体制を構築し、併せて応急救援活動などに活用する。</li> </ul>												
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時避難場所の整備を行い、避難対象となる住民に対する避難場所の充足率の向上を図る。</li> <li>防災行政無線のデジタル化整備を行い、収容避難所、一時避難場所等の情報収集、広報連絡体制の整備強化を図る。</li> </ul>												
定量的指標の定義及び算定式											備考		
										定量的指標の現況値及び目標値			
										当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	
北久野本地区一人あたりの一時避難場所の面積 (㎡/人) (一人あたりの一時避難場所の面積) = (一時避難場所面積) / (地区内避難者総数)										0.6	1.1	1.1	
防災行政無線のデジタル化率 (デジタル化整備率) = (デジタル化整備済箇所数) / (デジタル化整備予定箇所数)										0%	0%	100%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	362.4 百万円	A	326.4 百万円	B	0.0 百万円	C	36.0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		9.9%		
		288.7 百万円		250.9 百万円		0.0 百万円		37.8 百万円			13.1%		

## 事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本事業を所管する総務部危機管理室、建設部都市計画課で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、その要因を分析した。	平成30年度
	公表の方法
	天童市ホームページにて公表

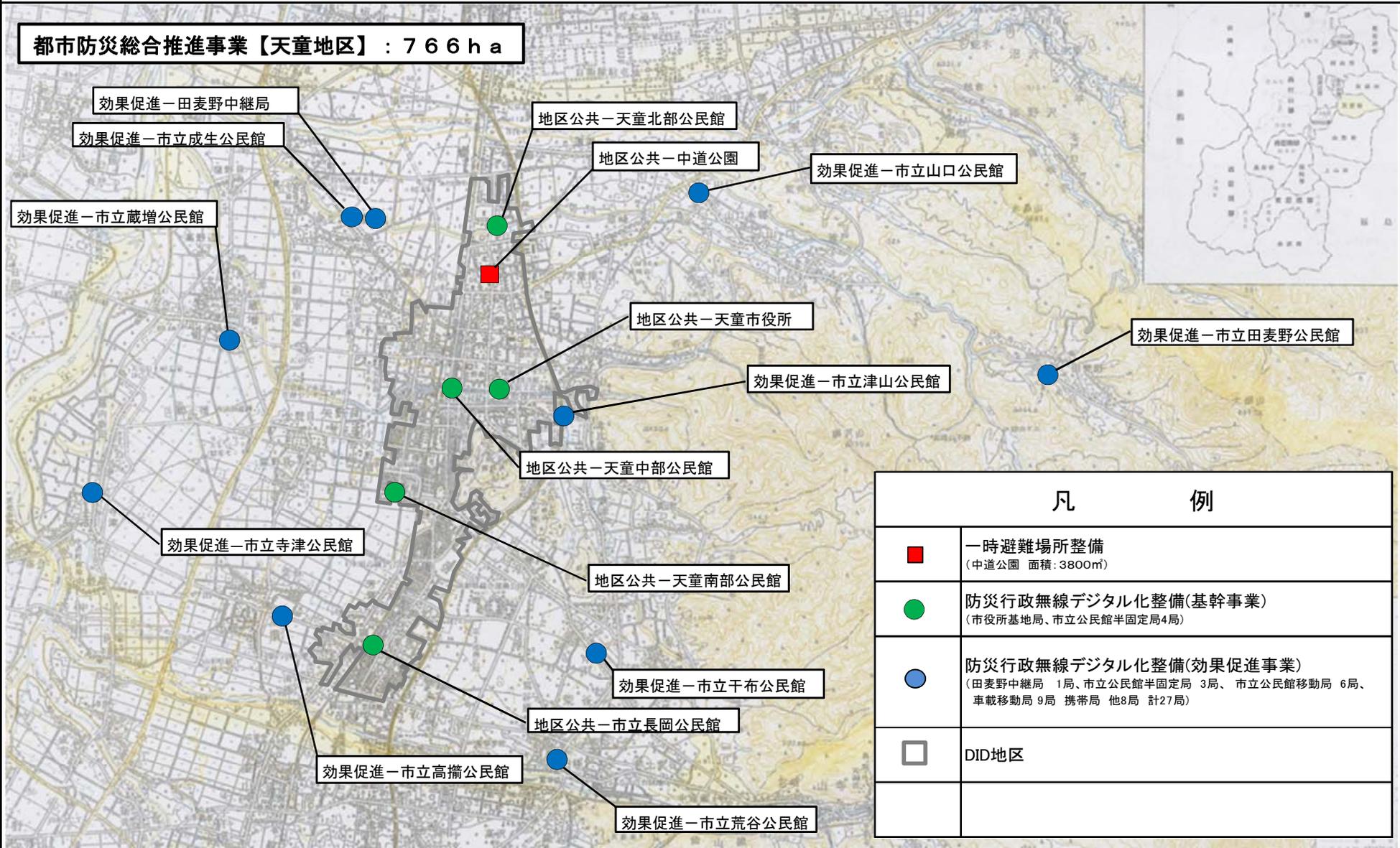
### 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
A-1	防災	一般	天童市	直接	天童市	天童地区都市防災総合推進事業	一時避難場所整備	天童市						246.4	計画
														217.0	実施
A-2	防災	一般	天童市	直接	天童市	天童地区都市防災総合推進事業	防災行政無線デジタル化整備	天童市						80.0	計画
														33.9	実施
合計													326.4	計画	
合計													250.9	実施	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
C-1	防災	一般	天童市	直接	天童市	天童地区防災行政無線デジタル化事業	防災行政無線デジタル化整備	天童市						36.0	計画
														37.8	実施
合計													36.0	計画	
合計													37.8	実施	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
C-1	災害発生時に避難者が多数発生すると想定される市街化地域から、周辺の収容避難所等への適切な避難誘導を行う為の情報収集活動に活用する。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>一時避難所となる公園整備により、地域内の避難活動の円滑化や災害復旧活動の迅速化が図られた。 また、園内に災害対応用施設を整備したことで、地域の防災活動の場となり、地域住民の安全・安心な生活が確保された。</p> <p>防災行政無線デジタル化整備により、移動系防災行政無線をデジタル方式に移行し、安定した通信網が整備され、避難所となる地区公民館や防災組織との連携強化が図られた。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（北久野本地区 一人あたりの一時避難 場所の面積）	最終目標値	1.1	目標値と実績値 に差が出た要因	目標どおりであった。
		最終実績値	1.1		
	指標②（防災行政無線 のデジタル化率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	事業を完了し、目標を達成した。
		最終実績値	100.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<p>一時避難所の整備をきっかけに、地域住民の自主防災組織への意識が高まり、防災力の強化につながった。</p> <p>今回整備した防災行政無線に加え、各地区が独自に整備する無線網の整備が進み、災害時により多くの組織と連携できる通信網となった。</p>			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後は、一時避難所を活用した自主防災組織による活動や防災の意識啓発等のソフト分野の事業を展開し、防災機能の強化による安全・安心な暮らしの実現を目指す。</p> <p>災害時に活用できるよう、防災行政無線の通話訓練等を実施するとともに、無線網を活用した情報伝達や収集体制の強化を図る。</p>					

# 天童地区都市防災整備計画(山形県 天童市)

都市防災総合推進事業【天童地区】：766ha



効果促進-田麦野中継局

効果促進-市立成生公民館

効果促進-市立蔵増公民館

効果促進-市立寺津公民館

効果促進-市立高揃公民館

効果促進-市立荒谷公民館

地区公共-天童北部公民館

地区公共-中道公園

効果促進-市立山口公民館

地区公共-天童市役所

効果促進-市立津山公民館

地区公共-天童中部公民館

地区公共-天童南部公民館

効果促進-市立干布公民館

地区公共-市立長岡公民館

効果促進-市立田麦野公民館

凡 例	
■	一時避難場所整備 (中道公園 面積:3800m <sup>2</sup> )
●	防災行政無線デジタル化整備(基幹事業) (市役所基地局、市立公民館半固定局4局)
●	防災行政無線デジタル化整備(効果促進事業) (田麦野中継局 1局、市立公民館半固定局 3局、市立公民館移動局 6局、 車載移動局 9局 携帯局 他8局 計27局)
□	DID地区